

いいねが詰まってるまち、いづか



## 飯塚市企業版ふるさと納税 活用事業一覧

飯塚市 経済部 特産品振興・ふるさと応援課

〒820-8501 福岡県飯塚市新立岩5番5号

TEL 0948-22-5500 FAX 0948-22-5526

MAIL [tokusanhin-f@city.iizuka.lg.jp](mailto:tokusanhin-f@city.iizuka.lg.jp) URL <https://www.city.iizuka.lg.jp/sogo/kigyouban.html>

## 基本目標Ⅰ「地域を元気にする仕事づくり」

- **先端情報技術開発支援事業費** . . . P 4  
ブロックチェーン技術による産業競争力の強化～先端情報技術による新たな産業の創出～
- **スマートアプリコンテスト事業** . . . P 5  
～「IT技術者が集まる飯塚」の発信～
- **産学官交流・共働促進事業** . . . P 6  
学生と地元企業との共働を促進～学生のアイデアで地元企業の課題解決～
- **地元ブランド化推進事業** . . . P 7  
飯塚市の魅力あるブランドを発掘していきます！
- **筑前茜染活用事業** . . . P 8  
筑前茜染の復活を目指します！

## 基本目標Ⅱ「未来を創るひとづくり」

- **教育用情報機器管理事業** . . . P 9  
子どもたちに快適なICT環境を！
- **小中学校外国語教育推進事業** . . . P10  
世界へはばたく子どもたちを育てるために！
- **プログラミング教育推進事業** . . . P11  
人型ロボットと一緒に成長していく子どもたちのために！
- **小中学校ICT教育推進事業** . . . P12  
子どもたち1人1人に「個別最適な学び」を実現するために！
- **未来の地域人材応援事業** . . . P13  
未来の地域人材を応援します！
- **ヤングケアラー支援事業** . . . P14  
ヤングケアラー相談窓口を開設しました！
- **支援対象児童等見守り強化事業** . . . P15  
子どもの見守りを強化します！
- **子どもの居場所づくり支援事業** . . . P16  
「子どもの居場所づくり」を一緒に行いましょう！
- **産前・産後生活支援事業** . . . P17  
子育て世帯のサポートをします！（産前・産後支援）
- **グローバル人材育成研修事業** . . . P18  
グローバル人材育成研修事業～目指せ！ワールドクラス lizukan～
- **外国人材雇用支援事業** . . . P19  
外国人が活躍できるまちづくりにご協力ください
- **起業家育成事業** . . . P20  
アントレプレナーシップの醸成～起業を目指す学生等を応援します～

## 基本目標Ⅲ「次世代を牽引する魅力あふれるまちづくり」

- **低出生体重児健康診査事業** . . . P21  
小さく生まれたお子さんの健診を総合病院とコラボ実施しています！
- **婚活支援事業** . . . P22  
いいつか出会いサポートセンターJUNOALL
- **飯塚駅周辺地区整備事業** . . . P23  
～「飯塚駅」周辺が生まれ変わります！～
- **協働のまちづくり応援事業** . . . P24  
協働のまちづくり「チャレンジing」応援事業
- **まちづくり協議会活動推進事業** . . . P25  
飯塚市まちづくり協議会活動推進事業（新しいまちづくりに向けて）
- **健幸ポイント事業（ヘルスケアプロジェクト）** . . . P26  
いいつか健幸ポイント～誰でも 気軽に 楽しめる！広げよう「健幸」の輪！～
- **飯塚新人音楽コンクール運営事業** . . . P27  
～市民組織が支え育てる新人演奏家の登竜門～
- **旧伊藤伝右衛門邸保存整備事業** . . . P28  
～大切に保存しよう ふるさとの歴史遺産～
- **嘉穂劇場保存整備事業** . . . P29  
多くの芸能人が愛した筑豊の芝居小屋「嘉穂劇場」の再興を応援してください。
- **デジタルデバイド対策事業** . . . P30  
誰もがデジタル化の恩恵を受けられる飯塚市へ！デジタルデバイド対策事業への応援をお願いします！
- **グラウンドゴルフ場整備事業** . . . P31  
世代を問わず楽しめるグラウンドゴルフ場を！
- **移住者住宅取得奨励金制度** . . . P32  
福岡に移住するなら飯塚移住計画！筑豊地域外からの移住者住宅取得奨励金制度
- **移住支援事業** . . . P33  
移住するなら、飯塚市へ！
- **シティプロモーション推進事業** . . . P34  
「住みたいまち 住みつけたいまち」をプロモーション
- **花いっぱい推進事業** . . . P35  
花いっぱい人が集まる美しいまちづくり！花で華のあるまち飯塚へ！
- **飯塚観光協会補助事業** . . . P36  
飯塚市の観光イベントを次世代の子どもたちに残していくために応援してください。

# ブロックチェーン技術による産業競争力の強化 ～先端情報技術による新たな産業の創出～

## 基本目標Ⅰ 「 地域を元気にするしごとづくり 」



事業名	先端情報技術開発支援事業費
事業費	16,183,000円（令和6年度）

### 《事業概要》

本市の強みである、市内2つの理工系大学及び優れた技術を有するIT企業を地域デジタル化に活用し、ITによる豊かな暮らしの実現を図るため、先端かつ要素となる情報技術であるブロックチェーン技術に特化した産学官の連携強化による同技術を活用した人材育成、事業の実証、情報発信を進めることで、関連IT企業、技術者集積による新たな産業を創出します。

### 《取組プロジェクト》

- ・先端情報技術開発支援補助金 ※ブロックチェーン技術及びその技術を構成する技術を活用した研究開発を支援  
募集：4月8日～5月15日 審査会：5月29日（WEBページ等で公表）
- ・先端情報技術実証実験サポート事業 ※ブロックチェーン技術をはじめとしたAIやIoT、ビッグデータなどの先端情報技術を活用した実証実験を全国から募集し、支援します。
- ・福岡県との合同によるブロックチェーン技術研修会の開催  
研修会：6～8月（令和5年度実績 計7回 学生22名参加） ビジネスプランコンテスト：10月



**福岡県飯塚市**

**飯塚市先端情報技術実証実験サポート事業**

**募集**

飯塚市では、社会や地域の課題解決、豊かで便利な市民生活の実現に向け、ブロックチェーン技術を活用した企業集積、市内産業の高度化、観光産業化を目指しています。その取組の一つとして、本市をフィールドとするブロックチェーン技術等(※)を活用した実証実験プロジェクトを全国から公募します。

※ブロックチェーン技術等：ブロックチェーン技術及びその技術を構成する技術

**事前相談期間** 令和5年5月1日(月)～令和5年6月23日(金) ※必ず事前にこちらをご覧ください  
午前9時30分から午後5時15分まで

**募集期間** 令和5年6月1日(水)～令和5年6月30日(金)  
午前9時30分から午後5時15分まで

**支援内容**

- 実証実験事業の実施に必要な市が保有する施設、設備等の提供に係る補助
- 実証実験事業に係る実証実験への参加費の取組に関する支援
- 実証実験事業の実施に係る地域経済等への取組に関する支援
- 実証実験事業の実施に係る地元大学との連携の支援、その他取組に関する調整
- 広報、関係機関ホームページ等を活用して行う実証実験事業に係る情報発信
- 上限100万円の経費支援（補助率1/2以内）
- その他が、実証実験と認められる場合

### 《特徴その1 県と連携したブロックチェーンビジネスの開発支援》

ブロックチェーン技術者は先端成長産業としての期待はされていますが、ビジネスモデルの確立は途上にあります。また、本技術は基盤技術であり、様々な分野への応用が見込まれるため、補助金交付により、多様な事業開発を支援しています。

福岡県と併せて補助金を申請することができるようにしており、ブロックチェーン技術を活用した研究開発がより取り組み易くなっています。

### 《特徴その2 ブロックチェーン技術の社会実装に向けた取組を支援》

飯塚発となるプロジェクトを全国から募集し、研究開発のその先にある実証実験を支援することで社会実装につながるお手伝いをしています。

### 《特徴その3 優れた技術者の育成》

ブロックチェーン技術者は先端成長産業であるが故に全国的に技術革新を担う人材が不足しています。ブロックチェーン技術研修会を福岡県と共催で開催し、県内での技術者育成を実現するとともに、伴走型の研修サポート体制によりビジネスプランを作成するなど、研修プログラムの充実を図っています。

また、市内2つの理工系大学生も研修に多数参加をしており、ブロックチェーン技術者や地元企業との交流が促され、更には起業家精神も醸成されています。

# スマートアプリコンテスト事業 ～「IT技術者が集まる飯塚」の発信～

## 基本目標Ⅰ 「 地域を元気にするしごとづくり 」



事業名	スマートアプリコンテスト事業
事業費	1,810,000円（令和6年度）

### 《事業概要》

全国を対象に、日常生活やビジネスなど様々な場面で利用されるスマートアプリの開発を対象としたコンテストを実施することにより、アプリ開発を行うエンジニア・学生・IT企業との交流の場を創出し、優れた技術者の発掘と育成、自由でクリエイティブなアプリ開発の推進、更には「IT技術者が集まる飯塚」を発信しています。

### 《取組プロジェクト》

- ・募集時期 6月頃～8月頃（WEBページ等で公表）
  - ・最終審査 10月12日
  - ・表彰内容
    - ◇グランプリ 1点（賞金30万円）
    - ◇飯塚市長賞 1点（副賞は後日WEBページ等で発表）
    - ◇協賛企業賞 各1点（副賞は後日WEBページ等で発表）
- 【令和5年度応募実績 69件 全国から募集(個人、グループ不問)】



### 《特徴その1 優れた技術者の発掘と育成》

市内に理工系大学、研究施設、産業支援機関等が集積するポテンシャルを活かし、市場規模の拡大が続くスマートアプリの開発を対象としたコンテストを開催しています。

近年のグランプリには市内大学生チームも受賞しており、起業を目指すなか、本市も副賞として市内創業支援施設の1年無料貸出を行い起業の後押しをしています。

### 《特徴その2 著名な審査員と協賛企業による後援》

コンテストの審査員として、著名なIT業界及びIT関連メディアの方を招聘することで、技術者の発掘と育成、クリエイティブなアプリ開発の推進につながっており、参加者からも好評で、応募数は毎年増加しています。

また、協賛企業による協賛賞は、参加者の創作モチベーションをさらに向上し、企業との交流の場づくりとなっています。

### 《特徴その3 産学官交流の場の創出》

参加団体をはじめ、本市、IT業界及びメディア関係者が繋がりを持つことができ、本コンテストは貴重な交流の場ともなっています。



# 学生と地元企業との共働を促進 ～学生のアイデアで地元企業の課題解決～

## 基本目標Ⅰ 「 地域を元気にするしごとづくり 」



事業名	産学官交流・共働促進事業
事業費	990,000円（令和6年度）

### 《事業概要》

地域企業が抱える課題について、大学生・大学院生が主体となり分析・検討を進め、その解決策を企業に提案する実践型ワークショップを実施し、地域企業と学生の交流・共働を促進します。両者による課題解決策の検討やその実行を通じて、地域企業の魅力・取組に対する認知度や学生の課題解決力の向上を図るとともに、飯塚地域のポテンシャルである企業と大学との連携促進により、学生の起業や地元就職意欲を促し若者の地元定着を目指します。

### 《取組プロジェクト》

- ①3チーム（1社、学生5名）に分かれ、各チーム6度のワークショップを実施
- ②課題を深掘りし、解決策を検討
- ③報告会を開催し、解決策に関して企業や有識者からコメントをいただく



**6日間 実践型ワークショップ**  
飯塚の大学生募集

エントリーはコチラ

～事業概要～  
本事業では、地域企業が抱えている課題に対し、大学生・大学院生と交流したワークショップを開催し、双方の交流により、新しい視点を持ちながら、アイデアの創出を行い、企業と共に課題に対してのアプローチを検討しています。この取り組みを通じて、地域企業と学生の有意義な交流・協働の機会を生み出し、飯塚地域における企業と大学の連携をさらに強化することを目的とし、学生の地域への起業やビジネスの意欲を高め、長期的には若者の地元定着を促進することを目標としております。

ワークショップは3ヶ月間に渡って、月に2回（2時間）開催されます。サポートスタッフもつきますので、お気軽にご参加ください！

令和5年度 産学官交流・共働促進事業 事務局：市内企業館3社 大学室9～12名  
主催 飯塚市 経済部 経済政策推進課 高学課員担当  
お問い合わせ スタートアップポーション株式会社  
〒820-0001 福岡県飯塚市 2525-157  
Eメール: info@start-up-potion.com  
TEL: 090-289-7408

### 《特徴その1 学生のアイデアで地元企業の課題を解決》

企業が抱える様々な課題に対して、学生の若い視点でアプローチ。新製品・新サービスのコンセプト提案や広報手法、マーケティング、デジタル化推進など、学生と企業と一緒に考えて課題解決を図ります。

### 《特徴その2 学生の人材育成と地元定着》

ワークショップを通して学生自身もビジネス教養度の向上及び地域内企業の魅力を知ることができ、企業の課題解決とともに、学生の人材育成、地域への愛着心の向上・定着につながることを期待されます。

### 《特徴その3 学生と地元企業との交流促進》

ワークショップを通して学生と企業の交流が深まります。事業終了後も企業が学生をアルバイトとして雇用したり、学生がもつネットワークにより交流の輪が広がっていくことが期待できます。

# 筑前茜染の復活を目指します！

## 基本目標Ⅰ 「 地域を元気にするしごとづくり 」



事業名	筑前茜染活用事業
総事業費	6,441,000円(令和6年度) (4,021,000円)

### 《事業概要》

「日の丸」を日本で初めて染めたといわれている筑前茜染を地域住民をはじめ小中学生に知ってもらうため、筑前茜染の歴史や文化としての筑前茜染の勉強会を実施しています。茜草の育成や染物技術等の知識習得や草木染による染物体験を行うとともに、商品開発等に係る情報収集を実施して、筑前茜染を活用したパイロット製品を作成しながら事業の啓発を図ります。茜色をイメージカラーとして飯塚市茜統一ブランドの位置づけを徐々に浸透させていくことを目指します。

### 《取組プロジェクト》

- 茜草の育成・植付体験による栽培活動及び染物体験活動
- 筑前茜染に関する歴史・文化の継承
- 筑前茜染製品の開発



### 《特徴その1 筑前茜染の復活》

「日の丸」を日本で初めて染めたといわれている筑前茜染が後継者不足により、染物技術や存在が危ぶまれている中、飯塚市全体で筑前茜染の復活を目指し取り組みを始めました。

### 《特徴その2 飯塚市特産品・ブランドとしての醸成》

茜色を本市のイメージカラーとして統一ブランドの位置づけができるように、茜草の大量生産や製品の開発に取り組みつつ、小中学生を中心に茜染の歴史や製法などの伝承を行い、ブランド化としての醸成を図っています。

### 《特徴その3 飯塚市筑前茜染協議会としての活動》

筑前茜染の復活やブランド化の確立を目指すことを目的に飯塚市筑前茜染協議会を設立しました。継続した事業となるよう市内の有識者や民間企業、観光協会などが一体となって取り組んでいます。また、各部会ごとに役割を担った上で、多角的な視点から目的の達成のために努めています。

# 飯塚市の魅力あるブランドを 発掘していきます！

## 基本目標Ⅰ 「 地域を元気にするしごとづくり 」



事業名	地元ブランド化推進事業
総事業費	25,391,000円(令和6年度) (23,091,000円)

### 《事業概要》

市内にはまだ認知度の低い知られざる特産品があることから、定期的に市内企業等を訪問し、特産品となりうる製品の掘起しを行うとともに、福岡県物産振興会や大手百貨店での催事を含む販売ルート構築を進めることで、いづかブランドを確立し、広く周知啓発を行うことによって、市内企業だけでなく、本市のイメージアップを図る。また、ふるさと納税の返礼品における市内産品の割合を高めたいけるよう、ブランド認定製品の反映や特産品のブラッシュアップを行える制度を制定する。

### 《取組プロジェクト》

- いづかブランド認定制度の実施
- いづかブランド認定製品支援補助金の実施
- その他、特産品振興に係る販路開拓及びPR活動



### 《特徴その1 飯塚市開発の特産品販路開拓》

販路開拓並びに販売促進について取り組みを行い、飯塚市のお土産などに使っていただけるような事業を展開する。

### 《特徴その2 市内商品の発掘及びブランド力の向上》

飯塚市の事業者が加工・販売している特産品となりうる製品の掘り起こしを行うとともに、イヅカブランドとしての付加価値をつけ、福岡県物産振興会や大手百貨店での催事など販売ルート構築を進め、ブランド力の向上を図る。

### 《特徴その3 ふるさと納税の返礼品へのバックアップ》

市内事業者の売上向上やふるさと納税の条件に沿った支援を行うため、製品の製造や加工に係る機械の導入や委託する場合の経費補助を行うなど、できるだけ市内での生産・加工・販売ができる製品を増やしていけるように支援していく。



# 子どもたちに快適なICT環境を！

## 基本目標Ⅱ 「 未来を創るひとづくり 」



事業名	教育用情報機器管理費事業
総事業費	43,716,000円（令和6年度）

### 《事業概要》

児童生徒の情報活用能力の育成、並びに意欲的で深まる授業を実現することにより、確かな学力の基盤となる、基礎・基本の確実な定着と思考力・判断力・表現力の育成を図るために整備した教育用情報機器(タブレットパソコン、電子黒板等、ソフトウェア等)の管理・運用を行っています。

### 《取組プロジェクト》

- ・1人1台の児童生徒用パソコンの管理・運用
- ・1教室1台の電子黒板の維持管理
- ・学習支援ソフト等、学習への理解を深めるためのソフトウェアの導入



### 《特徴その1 1人1台パソコンによる「基礎スキル」の向上》

子どもたちへ整備した1人1台のパソコンを、支障なく授業で活用できるよう適切に管理・運用することで、パソコンを用いた授業を当たり前にし、未来の飯塚市を担う子どもたちのICTの活用能力や課題を解決できる「基礎スキル」の向上を図っていきます。

### 《特徴その2 “場所”、“教科”を問わず学習意欲を高める》

電子黒板を利用することで、従来の板書と比べ、子どもたちの学習意欲や理解力を高める効果が期待されます。

電子黒板の利用に支障がないよう維持管理を行い、“場所”や“教科”を問わず、学習意欲や理解力の向上につながる環境整備に取り組んでいます。

### 《特徴その3 学習支援ソフト等の導入によるICT教育の充実》

学習効果を高める授業が実施できるよう、学習支援ソフト等を導入し、思考力・判断力・表現力の育成とICT教育の充実に取り組んでいます。



# 世界へはばたく子どもたちを育てるために！

## 基本目標Ⅱ 「 未来を創るひとづくり 」



事業名	小中学校外国語教育推進事業
総事業費	84,192,000円（令和6年度）

### 《事業概要》

小学校3,4年生に、ALTを派遣し外国語に慣れ親しむ活動を通して、高学年の外国語科学習へスムーズな接続を図っています。

平成28年度から小学校6年生を対象に、平成30年度からは5,6年生を対象に、令和6年度からは小学校5年生から中学校3年生までを対象にオンライン英会話を実施し、オンラインによるネイティブ講師とのマンツーマンの英会話レッスンを実施しています。

中学校へは外国人講師を派遣し、外国語でコミュニケーションを図る力を育成しています。

### 《取組プロジェクト》

- ・オンライン英会話研修会の実施（教職員研修）
- ・オンライン英会話レッスンの実施
- ・ALTの派遣



### 《特徴その1 外国語でコミュニケーションを図る基礎的な力の育成》

・オンラインによるマンツーマンの英会話レッスン等を取り入れた授業を通して、聞く・話すを中心とした**英語のコミュニケーションを図る基礎となる力を育成**しています。（小学校5年生から中学校3年生）

・外国語活動に外国人講師等を派遣し、外国語による聞くこと、話すことの活動を通して、**児童のコミュニケーション能力の素地を育成**しています。（3,4年生）

・外国語の授業に外国人講師を派遣し、**外国語によるコミュニケーション能力や主体的に外国語でコミュニケーションを図ろうとする態度の育成**を図っています。（中学校）



# 人型ロボットと一緒に成長していく 子どもたちのために！

## 基本目標Ⅱ 「 未来を創るひとづくり 」



事業名	プログラミング教育推進事業
総事業費	3,663,000円（令和6年度）

### 《事業概要》

全小中学校で確実にプログラミング学習が実施できるようにするために、小学校ではソフトバンクグループ(株)と締結した教育事業連携協定の事業を活用して、人型ロボットを市内で3台配備し、中学校ではライフズテックが提供するプログラミング教材を整備し、プログラミング教育を実施しています。

また、学習指導要領に例示されている単元でのプログラミング学習の充実を図るため、プログラミング学習教材の整備を行っています。

### 《取組プロジェクト》

- ・教職員を対象としたプログラミング研修会の実施
- ・夏季休業中の小・中学生向けプログラミング講座の開催



### 《特徴その1 教職員の学びを子どもたちの能力向上に》

研修会を通して、様々なプログラミング教材をどのように活用することができるのかということを知り、子どもたちへの指導に活かすことで**プログラミングへの意欲や基礎スキルの向上**を図っていきます。

### 《特徴その2 難易度の高い課題でレベルアップを》

プログラミングに興味のある子どもたちを集めて、難易度の高いプログラミングにチャレンジさせることで、**プログラミング能力のレベルアップ**を図っていきます。

### 《特徴その3 プログラミング教育の成果を披露》

子どもたちがプログラミングした内容を人型ロボットの動きや表現を通して発表し競い合うことで、子どもたちの**追究意欲やスキル向上**を図っていきます。

# 子どもたち1人1人に「個別最適な学び」を実現するために！

## 基本目標Ⅱ 「未来を創るひとづくり」



事業名	小中学校ICT教育推進事業
総事業費	40,961,000円（令和6年度）

### 《事業概要》

各教科のねらいや個別学習・協働学習等の学習場面に応じたICTの活用により、児童生徒の情報活用能力の向上を図り、多様な子どもたち1人1人に個別最適な学びの実現を目指しています。

また、教員が子どもたちと向き合う時間を確保できるよう、ICTの活用により業務の効率化を図り、教職員の働き方改革に取り組んでいます。

### 《取組プロジェクト》

- ・大型提示装置（電子黒板）やデジタルコンテンツ等、学習効果を高めるICTの活用
- ・情報モラルや情報活用能力の育成など、問題や課題を解決する力を高めるICTの活用
- ・ICTを活用した授業づくりの支援及び機器トラブル対応のためのICT研究指導員の配置
- ・教員のICT活用指導力向上のための教員研修の充実及びICTの活用による業務効率化の推進



### 《特徴その1 ICTを活用した新しい授業スタイル》

WEB会議システムを使って、学校にゲストティーチャーを招いて行う授業を、市内の他の学校とつないで合同で授業を行ったり、市外の学校とつないで、意見交換等を行ったり、**合同授業等の新しい授業スタイル**を取り入れています。これまでと違った授業に子どもたちは目をキラキラと輝かせて学習に取り組んでいます。

### 《特徴その2 協働して問題を解決しようとする児童生徒の育成》

児童生徒用パソコンやクラウド学習ツール等を使って、グループ内で複数の意見や考えを視覚的に共有し、発言が得意な児童生徒、そうでない児童生徒もみんな協力して学習課題の解決に取り組み、**思考力・判断力・表現力を育成**しています。



### 《特徴その3 ICTを活用した家庭学習》

児童生徒用パソコンを自宅に持ち帰り、授業の続きや調べ学習などの自主学習や、デジタルドリルを活用して学校からの課題に取り組む等、**子どもたちそれぞれのペースにあった学習**に取り組んでいます。

# 未来の地域人財を応援します！

## 基本目標Ⅱ 「未来を創るひとづくり」



事業名	未来の地域人財応援事業
総事業費	139,133,000円（令和6年度）

### 《事業概要》

子育て世帯の支援及び定住化促進を目的として、飯塚市の未来を担う子どもたちへの応援金を支給するものです。

- |                |         |      |
|----------------|---------|------|
| (1) 第3子以降出産応援金 | 児童1人あたり | 10万円 |
| (2) 小学校入学応援金   | 児童1人あたり | 5万円  |
| (3) 中学校入学応援金   | 生徒1人あたり | 5万円  |

### 《取組プロジェクト》

赤ちゃんすくすく元気訪問で対象者に申請をご案内しています。

小中学校入学時に対象となる児童・生徒の養育者の方に申請用紙を郵送して通知しています。



### 《特徴その1 第3子以降出産応援金》

本市に住民票の登録があり、第3子以降の児童及び出産した児童以外に2人以上の生計を同じくする兄弟を養育している方に応援金10万円を支給し、子育てを応援します。

### 《特徴その2 小中学校入学応援金》

4月30日を基準に、引き続き本市に住民票の登録があり、以下の児童や生徒を養育している方に5万円を支給し、入学時の負担を軽減し、子育てを応援します。

- ・小学校に1年生として入学した児童
- ・中学校に1年生として入学した生徒
- ・義務教育学校に7年生として進級した生徒



# ヤングケアラー相談窓口を開設しました！

## 基本目標Ⅱ 「未来を創るひとづくり」

### ヤングケアラー

※責任や負担の重さにより、学業・就業・人間関係等に様々な悪影響を及ぼす



事業名	ヤングケアラー支援事業
総事業費	2,155,000円（令和6年度）

### 《事業概要》

本事業は、ヤングケアラー(当人に自覚がなく、また自覚があっても相談相手がないことが多く、ケアにより割かれる学習時間や自由時間、また孤独やストレスが心身に与える影響等により、学業・就業・人間関係等に様々な悪影響を及ぼす可能性がある。)相談窓口を開設し、ヤングケアラーの発見と支援を継続的に行っていく事業です。

### 《取組プロジェクト》

#### ・ヤングケアラー相談窓口の開設

ヤングケアラーを発見し、孤立防止と必要な支援を実施することを目的に以下を実施する。

- ①学校とのコミュニケーションを重ね、ヤングケアラーの可能性のある子どもを発見できる仕組みを構築。
  - ②相談窓口により発見した子どもの援助方針を検討。
  - ③ヘルパー派遣を派遣。※予定
- ・ヤングケアラーについての研修等を実施



### 《特徴その1 ヤングケアラー相談窓口の開設》

ヤングケアラーの早期発見と必要な支援に繋げるための体制を構築します。

- ①情報提供と相談体制の整備
- ②孤立の防止
- ③早期発見と早期支援のための多機関連携

### 《特徴その2 ヘルパー派遣(委託)》※予定

ヤングケアラーがいる世帯に支援員が訪問し、家事・育児等の支援を実施することにより、ヤングケアラーの日常生活における負担を軽減します。

### 《特徴その3 ヤングケアラーについての研修会を実施》

ヤングケアラーの支援体制を強化するため、福祉・介護・医療・教育等の関係機関(要対協構成機関も含む)及び地域住民に向けてヤングケアラーの発見や支援策に係る研修等を実施します。

# 子どもの見守りを強化します！

## 基本目標Ⅱ 「 未来を創るひとづくり 」



主任児童委員 支援対象児童等の居宅等



事業名	飯塚市支援対象児童等見守り強化事業
総事業費	3,997,000円（令和6年度） (612,000円)

### 《事業概要》

本事業は主任児童委員が普段活動している見守りや状況の把握について、支援を必要とする子ども等の居宅を訪問する際に、食料品や日用品（生活必需品）等を提供することで、少しでも門戸を開放してもらい見守り等の強化につなげる事業です。

※対象児童等は、要保護児童連絡協議会の支援対象児童等として登録されている子どもだけでなく、地域社会から孤立しがちな子育て家庭や妊娠や子育てに不安を持つ家庭等の子供や妊婦も含まれます。

### 《取組プロジェクト》

補助対象経費等 補助金上限額 3千円

- ・食品・日用品の購入費など補助額2千円以内
- ・訪問に係る交通費、ガソリン代、コインパーキングの駐車場代、電話料金、データ通信料など 定額 千円

※訪問は月1回以上を想定しています。

状況の把握



食事の提供等



### 《特徴その1 早期発見》

地域の主任児童委員が持っている情報を共有することにより支援が必要な対象者を早期に把握し、関係機関と情報共有し支援します。

### 《特徴その2 訪問しやすい環境整備》

飲食物、日用品の生活必需品等を提供することで、少しでも門戸を開放してもらい、見守り等の強化につなげていきます。

# 「子どもの居場所づくり」を一緒に行いましょう！

## 基本目標Ⅱ 「未来を創るひとづくり」

### 子ども食堂・学習支援等



事業名	子どもの居場所づくり支援事業
総事業費	3,725,000円（令和6年度） (1,242,000円)

#### 《事業概要》

本事業は、貧困等の困難を抱える子どもを地域で見守り支援していく環境を整えるため、飯塚市内において「子どもの居場所づくり」に寄与するための子ども食堂や学習支援等を実施しようとする団体の創設支援、運営支援及び行政機関や各種関係団体との連携推進を行うものです。

#### 《取組プロジェクト》

子どもの居場所づくり(子ども食堂及び学習支援)を行おうとする団体に対し以下の事業を実施します。

- (1)開設・拡充に関する経費及び運営に関する経費を補助します。
- (2)立ち上げや運営のための情報提供・助言・相談等の支援を行うコーディネーターを配置します。



#### 《特徴その1 子ども居場所づくり支援事業補助金の創設》

子ども食堂や学習支援等を行おうとする団体に対し、開設・拡充に関する経費及び運営に関する経費を補助します。

#### 《特徴その2 交流センター等の公共施設の積極的利用促進》

子ども食堂や学習支援を行う場合は、多目的ホールや会議室、調理室等が整備されている「交流センター」の利用を推奨し、一定の条件を設定して、条件を満たした団体の利用料を減免します。

#### 《特徴その3 コーディネーター配置等(委託)》

専門知識を有するコーディネーターを配置し、開設・運営に関する情報の収集・提供、相談、研修等に対応することで、持続可能な団体運営を支援します。



# 子育て世帯のサポートをします！ (産前・産後支援)

## 基本目標Ⅱ 「未来を創るひとづくり」



事業名	産前・産後生活支援事業
総事業費	4,384,000 円 (令和6年度)

### 《事業概要》

市内に居住する妊産婦が、つわりや貧血、息苦しいなど体調不良がみられたり、出産後は睡眠不足や育児に対する不安や疲れなどでそのような体調不良で家事や育児を行うことが難しい場合、支援員を派遣し、家事や育児のお手伝いをする事業です。

### 《取組プロジェクト》

支援内容：乳幼児の保育、児童の生活指導、食事の準備及び片付け、住居等の掃除及び整理整頓等

利用期間：産前（妊娠中）・産後で通算で12回（産後12か月まで）（1回2時間以内）

利用時間：午前8時30分から午後5時まで

土・日も可能（ただし国民の休日、8/13～15、12/29～1/3は除く）

### 《特徴その1 利用申し込み方法変更》

令和6年4月1日から、利用申し込みの方法が変更されました！  
母子健康手帳交付時に交付された「飯塚市産前・産後サポート事業利用券（黄色）」に記載された委託業者に電話またはLINEで申込む。

#### 【委託業者】

- 飯塚市シルバー人材センター
- 菜の花助産院

母子健康手帳を既にお持ちの方で利用申込を希望の場合は、初回利用時に委託事業者から「飯塚市産前・産後サポート事業利用券（黄色）」をお受け取り下さい。

### 《特徴その2 利用金額》

利用家庭の区分	基準額(1時間当たり)	
	生活援助	子育て支援 (児童1人当たり)
生活保護受給世帯	0円	0円
市町村民税非課税世帯	150円	70円
その他の世帯	310円	150円



# グローバル人材育成研修事業 ～目指せ！ワールドクラスIizukan～

## 基本目標Ⅱ 「 未来を創るひとづくり 」



事業名	グローバル人材育成研修事業
総事業費	14,591,000円（令和6年度）

### 《事業概要》

市内中学生及び高校生20名を姉妹都市であるアメリカ・サニーバール市に派遣し、ホームステイや現地学生との交流を通して、多文化への理解やコミュニケーション能力を向上させ、将来の飯塚市を担う人材育成を行っています。

帰国後には地域貢献として、外国人のための日本語教室や国際交流イベントの運営支援等の地域活動への積極的な参加を継続して行っています。

### 《取組プロジェクト》

【対象】市内在住の中学1年生から高校2年生まで

【内容】事前研修、アメリカでの現地研修（ホームステイ、現地学生との交流、異文化体験）、事後研修、帰国報告会を実施。多くの研修生が、継続して事後活動に参加しています。



### 《特徴その1 ホームステイ》

現地研修ではホームステイや学校登校といった身近な生活を通して、文化や価値観の多様性を体感することで、研修生は大きく成長します。英語が苦手でも、英語の環境で生活しコミュニケーションをとることで、子どもたちの自信につながっています。

### 《特徴その2 シリコンバレーツアー》

スタンフォード大学やApple、Googleといったシリコンバレーを代表する企業を見学することで、創造性を引き出すための工夫が凝らされた近未来的な世界を感じ、大きく刺激を受けます。

### 《特徴その3 外国人との交流を深める事後活動》

帰国後は、外国人と交流できるイベント（地引網）やボランティア活動（日本語教室の補助）などに参加し、継続してグローバルな人材を育成しています。



# 外国人が活躍できるまちづくりにご協力下さい

## 基本目標Ⅱ 「未来を創るひとづくり」



事業名	外国人材雇用支援事業
総事業費	2,386,000円（令和6年度）

### 《事業概要》

飯塚市に住む外国人材の就業及び暮らしに対する満足感を高め、長期にわたって活躍できる環境を整備することにより、就業地として飯塚市を選択してもらうことを目的とした事業です。技能実習や特定技能の外国人材の就業環境・生活環境の整備及び地域社会との共生を促進する活動を行った際にかかる費用の一部相当額を補助金交付することで、市内企業等の労働力確保や競争力を強化するとともに、本市の定住人口増加を図ります。また、外国人受入れセミナー等を開催し、受入れ企業向けの啓発活動を行います。

### 《取組プロジェクト》

- ・飯塚市外国人材受入環境整備事業費補助金
- ・外国人受入企業講習会サテライト会場設置



### 《特徴その1 外国人材受け入れガイドブックの発行》

飯塚市では、外国人材の雇用を考える市内企業に向けて、外国人材受入れに関する制度概要や受入れ手続きの内容に加え、実際に外国人材を採用している企業の事例や市内支援機関の紹介などを掲載した「外国人材受け入れガイドブック」を発行しています。

### 《特徴その2 ベトナム企業と連携協定締結》

飯塚市は2022年12月にベトナムの送出し機関であるJVNET株式会社と人材受入れに関する事項や、受け入れた人材の生活支援に関する連携協定を締結しました。



# アントレプレナーシップの醸成 ～起業を目指す学生等を応援します～

## 基本目標Ⅱ 「 未来を創る人づくり 」



事業名	起業家育成事業
事業費	5,245,000円（令和6年度）

### 《事業概要》

起業を社会人キャリアの選択肢の一つと考えられるように、起業の啓蒙イベント及びネットワーキング、起業を含めたキャリア相談を実施しています。

地域ポテンシャルである大学等を活用した産学官連携を進め、地域課題及び社会課題の解決につながるイノベーションを生み出すとともに、地元学生の起業・地元就職を促し「地元定着」を目指します。

### 《取組プロジェクト》

- ①学生×スタートアップ等の交流の場創出  
→学生とスタートアップ企業等の交流を実施し、双方のネットワーク構築やアントレプレナーシップを醸成。
- ②学生からの個別相談・伴走支援  
→学生からの起業に関する相談に対応する窓口を設置し、キャリア支援や実際の事業化に向けた伴走支援を実施。



### 《特徴その1 大学生のアントレプレナーシップの醸成》

学生とスタートアップ企業等との交流イベント「e-ZUKA Career COLLEGE」を開催し、企業のピッチ、学生のピッチ、トークセッションやピザを食べながらの交流を行い、大学生のアントレプレナーシップの醸成は図っています。

### 《特徴その2 起業に向けた支援の提供》

相談窓口「e-ZUKAキャリア相談室」を設置し、起業を目指す学生等を支援しています。また、スタートアップや大手企業でのキャリアを経ての起業も想定し、長期的視点に立った様々なキャリア形成に関する相談も受けています。

### 《特徴その3 スタートアップ企業等との交流促進》

交流イベント「e-ZUKA Career COLLEGE」は、学生と企業の出会いの場にもなっています。就職やインターンシップ、アルバイト雇用への発展など、双方にメリットのあるイベントとなっています。

# 小さく生まれたお子さんの健診を 総合病院とコラボ実施しています！

## 基本目標Ⅲ「次代を牽引する魅力あふれるまちづくりの実現」



事業名	低出生体重児健康診査事業
総事業費	1,046,000円(令和6年度)

### 《事業概要》

飯塚市の総合（拠点）病院である飯塚病院と連携し、低出生体重児や先天性疾患のあるお子さんなどを対象に個別の乳幼児健診（4か月児健診・8か月児健診・1歳6か月児健診・3歳児健診）を行い、継続的にフォローアップしていくことで、疾病や異常の早期発見、児の健康の保持・増進、育児不安・ストレスの軽減につなげていきます。

### 《取組プロジェクト》

- ・専門性の高いスタッフでの対応を目指す。
- ・落ち着いて健診を受診できる会場の確保。  
(感染対策・プライバシーの保持も含めた)



### 《特徴その1 出生体重2,000g未満で生まれたお子さん》

発育や発達に不安がある小さく生まれたお子さんを小児科専門指導医・小児科NICU病棟看護師・助産師など専門性の高いスタッフが対応します。

### 《特徴その2 入院中に関わってくれたスタッフが待っている》

小さく生まれるお子さんのほとんどが飯塚病院で出産し、経過をみてもらっています。出産したお母さんの一番不安な時期に寄り添ってくれていたスタッフが健診でもお待ちしております。また、今後お子さんの成長を支援していく担当保健師も待っています。

### 《特徴その3 カンガルーサロン》

小さく生まれた赤ちゃんを育てた先輩ママたちが、育児の経験をもとにお母さんたちの心配にお応えします。お子さんの成長の見通しや利用すると助かるサービスなど具体的なお話を聞くことができます。

# いづか出会いサポートセンターJUNOALL

## 基本目標Ⅲ 「次代を牽引する魅力あふれるまちづくり」



事業名	婚活支援事業
総事業費	991,000円（令和6年度）

### 《事業概要》

飯塚市が設置者となっている婚活支援サービスです。  
従来からの「イベント型」ではなく、利用者の情報をデータ化し、理想のお相手を効率よくマッチングし、お見合いのセッティングまでを行う「登録型」の婚活支援サービスを展開しています。  
(地方自治体が主催する例は少ないと思われます。)

### 《取組プロジェクト(サービスの流れ)》



## JUNOALL

ジュンブライドの語源とされる、結婚・出産・育児を司るローマ神話の女神「Juno」を元に、すべての人たちに幸せが訪れることを願って「JUNOALL (ジュノール)」としました。



### 《特徴その1 オンライン検索》

自宅のPCやスマホで24hお相手が検索可能  
時間を気にせず、自分のタイミングで婚活活動ができます。

### 《特徴その2 AIマッチング》

希望条件に合うお相手の検索やAIからのお相手を紹介することができます。また「価値観診断テスト」の利用により、自身の特性を知ることができるので、今後の婚活に有効活用できます。

### 《特徴その3 どなたでも安心して利用するための取り組み》

- ・入会金や利用料金は発生しません。
- ・入会時に収入確認書類・独身証明書等を提出をいただき、面談を行います。

# 飯塚駅周辺地区整備事業

## ～「飯塚駅」周辺が生まれ変わります！～

### 基本目標Ⅲ 「次代を牽引する魅力あふれるまちづくり」

飯塚駅舎・自由通路



事業名	飯塚駅周辺地区整備事業
総事業費	4,459,000,000円（令和4～8年度） (2,663,000,000円)

#### 《事業概要》

本市の将来における都市づくりとして、中心拠点と地域拠点に必要な機能を集約し、拠点間を公共交通機関で結ぶことにより相互に補完することで生活の利便性を高める「拠点連携型の都市」を目指しています。中心拠点の一つである菰田・堀池地区のまちづくりを進めるにあたり、今後の指標となる基本的な考え方を「菰田・堀池地区活性化基本方針」として平成30年12月に策定し、「交通ネットワークを活かした賑わいのある拠点づくり」をまちづくりのコンセプトとして定めています。

令和4年3月に「飯塚駅周辺地区整備基本計画」を策定し、飯塚駅舎を含む自由通路及び飯塚駅東西駅前広場、飯塚駅周辺地区内の道路、公園について整備を推進しています。

#### 《取組プロジェクト》

【令和5（2023）年度まで】

- 旧卸売市場周辺整備事業
- 西町天道線道路改良事業
- 菰田堀池公園整備事業

【令和6（2024）年度以降】

- 駅前広場整備事業
- 飯塚駅舎・自由通路整備事業
- 菰田西公園整備事業
- 城ヶ崎踏切改良事業
- 桜ヶ丘踏切改良事業



飯塚駅舎・自由通路(西口)

飯塚駅西口



飯塚駅東口



#### 《特徴その1 道路》

周辺施設へのアクセス性と地域の安全性、利便性向上のため、交差点改良や歩道整備等を行います。

#### 《特徴その2 公園》

飯塚駅周辺地区と合わせて整備します。

#### 《特徴その3 駅前広場、駅舎・自由通路》

交通結節機能強化や利用者等の交流空間の形成を図り、利用する人訪れる人が快適に利用できる自由通路・駅舎と駅前広場を整備します。

※画像はすべて整備イメージ

# 協働のまちづくり「チャレンジing」応援事業

## 基本目標Ⅲ 「次代を牽引する魅力あふれるまちづくり」

### 協働のまちづくり応援補助金 「チャレンジing事業」



事業名	飯塚市協働のまちづくり応援事業
総事業費	3,094,000円（令和6年度）

#### 《事業概要》

協働のまちづくりの推進を進める一環として、市民活動団体及び地域活動団体が実施する、公益的かつ先駆的なまちづくり事業に要する経費について、事業費の一部を支援する制度です。市民活動の活性化及び市民自身の手による地域に密着した公共サービスの充実を図ることを目的としています。

- ※市民活動団体：NPO、ボランティア団体、その他の市民の自主的な活動により、公益の増進に寄与することを目的とした団体であって、営利を目的としないものをいいます。
- ※地域活動団体：自治会、まちづくり協議会、その他市内の一定の地域を単位とする組織であって、市民が相互に助け合うことを目的とした団体をいいます。



#### 《取組プロジェクト》

以下の3つの区分に分けて補助金を交付します。

- テーマ事業・・・上限15万円（補助率3/4）  
（先駆的な事業については上限20万円）
- コミュニティ事業・・・上限15万円（補助率3/4）  
（先駆的な事業については上限20万円）
- コラボ事業・・・上限30万円（補助率3/4）

#### 《特徴その1 チャレンジing》

先駆的な新しい発想、アイデアをもって、「チャレンジing」する団体を応援しています。地域の身近なものから、市全体にいたる様々な課題について、新しい発想をもって課題解決を図る取組みについて支援しています。

#### 《特徴その2 事業区分》

事業区分を3つにわけ、テーマを絞った事業から、地域を限定した事業、別々の団体が協働して行う事業まで、幅広く支援できるよう制度設計しています。

#### 《特徴その3 審査基準と審査方法》

補助事業の採択については、公平・公正・透明な審査が行えるよう、審査基準を公表した上で、「協働のまちづくり応援補助金審査会」を設置して審査を行います。

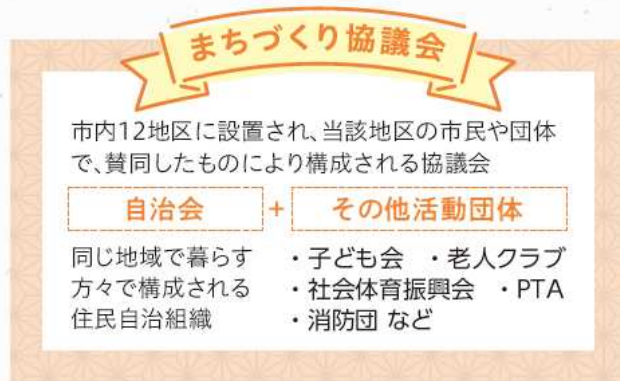


<採択事例>  
アンブレラスカイinイツカ



# 飯塚市まちづくり協議会活動推進事業 (新しいまちづくりに向けて)

## 基本目標Ⅲ 「次代を牽引する魅力あふれるまちづくり」



事業名	飯塚市まちづくり協議会活動推進事業
総事業費	35,986,000円（令和6年度）

### 《事業概要》

自治会をはじめとする様々な団体で構成される地域コミュニティ組織「まちづくり協議会」は、市内12地区に設立されています。

まちづくり協議会は、飯塚市協働のまちづくり推進条例において重要な地域活動団体と位置付けられており、それぞれの地域の課題解決のために自ら作成した事業計画を基に、防災、防犯、環境、福祉など各種事業に取り組んでおり、市は、「まちづくり協議会」の活動を支援しています。

### 《取組プロジェクト》

まちづくり協議会の組織活性化及び地域の課題を地域で解決するような活動の推進を図ることを目的として、市より財政的及び人的支援を行っています。

### 《特徴その1 まちづくり協議会補助金》

まちづくり協議会が策定する、まちづくり計画に基づき実施される、地域活性化や地域課題解決に向けた幅広い事業に対して、補助金を交付しています。

その交付金は、地域のイベントをはじめとしたさまざまな事業に活用されています。

### 《特徴その2 地域活動の拠点及び人的支援》

本市では、まちづくり協議会や自治会を中心とした地域コミュニティが、それぞれの地域の特色を活かしたまちづくりを進めていくことを支援しています。

地域コミュニティの拠点として、飯塚市内12地区に「交流センター」があり、地域のまちづくりを支援する職員が配置されています。



# いづか健幸ポイント ～誰でも 気軽に 楽しめる！ 広げよう「健幸」の輪！～

## 基本目標Ⅲ 「次代を牽引する魅力あふれるまちづくり」

例えば、こんな健康づくりでポイントがもらえます



**体重や筋肉量を適正に**

月1回測定をする事で体の変化に気づき、やる気アップ！



**検診を受診**

市の集団検診(がん検診・特定健診)、職場の健康診断や人間ドック、産科検診、妊婦健診などを受診する。



**健康づくり教室に参加**

市の個別運動プログラム教室等の各種健康教室に参加する。



**歩数を増やす**

歩く歩数を一定以上増やしたり、推奨歩数を維持するなど。



活動量計



アプリ

年間最大5,000ポイントをゲット！



事業名	健幸ポイント事業 (ヘルスケアプロジェクト)
総事業費	99,214,000円 (令和6年度) (54,723,000円)

### 《事業概要》

ICTを活用し歩数と体組成の計測を中心にさまざまな健康づくりに取り組んでいただくサービスです。活動に応じてポイントがたまり、事業終了時に最大5,000円相当の景品に交換できます。運動不足の解消により生活習慣病を予防し、若年者層に多い「メタボ予防」や、高齢者層での「フレイル」「ロコモティブシンドローム」予防への効果が期待できます。健康づくりへの積極的な参加と行動変容を促し、医療費の削減を目指します。

### 《取組プロジェクト》

- ICT活用の大規模健幸ポイント事業
- 運動・スポーツ習慣化促進事業
- 各種健幸関連事業



「飯塚市公式ホームページ」  
「いづか健幸ポイント」



からだカルテ



### 《特徴その1 健康づくりでの効果》

事業に参加することで、行動変容(運動習慣や健康的な生活習慣の獲得)やヘルスリテラシーの向上などを促し、参加者の健康増進を図ります。

- ・事業参加者の歩数増加 約1,500歩(平均値)
- ・現在の参加者数 約4,500名(R6.3月末時点)

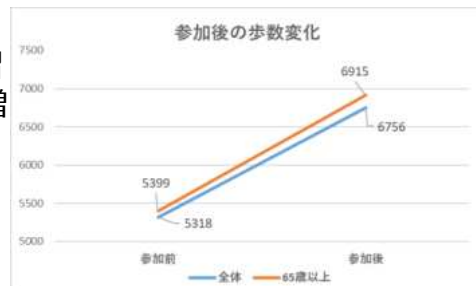


図1 《特徴その1 健康づくりでの効果》

### 《特徴その2 誰でも 気軽に 楽しめる》

事業は「測る」→「分かる」→「気づく」→「変わる」のサイクルで実践するプログラムです。どなたでも、無理なく健幸生活の習慣化ができ、参加者からは「誰でも」「気軽に」「楽しめる」運動として続けることができると好評です。



図2 《サイクル》

# 飯塚新人音楽コンクール運営事業 ～市民組織が支え育てる新人演奏家の登竜門～

## 基本目標Ⅲ 「次代を牽引する魅力あふれるまちづくり」



事業名	飯塚新人音楽コンクール運営事業
市の事業費	1,078,000円（令和6年度）
全体の事業費	9,365,000円（令和6年度）

### 《事業概要》

優れた新進演奏家の発掘育成と地域音楽文化の充実を図るため昭和57年からスタートし、今年度で43回目の開催となります。ピアノと声楽の2部門で構成され、毎年5月に予選、6月に本選を開催します。市民ボランティアによる心温かいきめ細やかな運営や市民組織「飯塚新人音楽コンクールを育てる会」によって財政基盤が支えられる等、市民の力によって成長を続け、現在ではわが国におけるクラシック部門の新人演奏家の登竜門として定着しています。

### 《ふるさとイベント大賞を受賞》

全国各地の催し物の中から、創意と工夫にあふれ、地域活性化に貢献しているイベントに贈られる「ふるさとイベント大賞」で平成29年度に優秀賞を受賞しました。市民ボランティアが運営を支え、地域に根付いたイベントとして音楽文化の振興に寄与している点が評価されました。



### 《特徴その1 きめ細やかな運営》

前日・当日のリハーサル会場の提供や、出場者が演奏に集中するためのサポート、録音CDの贈呈、審査員による個人への講評等、他のコンクールには見られないきめ細やかで温かい運営が出場者から大変好評を得ています。

### 《特徴その2 市民によるコンクール》

市民組織である「飯塚新人音楽コンクールを育てる会」によって財政の基盤が支えられ、開催当日は多くの市民ボランティアによって運営がなされています。市民の力がコンクールを堅実に定着させる大きな原動力になっています。

### 《特徴その3 新人音楽コンクールを巣立った演奏家が大活躍》

第1回大賞受賞者大野徹也氏は日本のオペラ界中堅の第一人者として、第5回大賞岡崎由美氏はピアニスト司会者としてテレビ等で活躍しています。また、第10回声楽部門1位佐藤美枝子氏は1998年のチャイコフスキー国際コンクールで優勝を果たされるなど、多くの出場者が優れた演奏家として国内外へ羽ばたいています。



# 旧伊藤伝右衛門邸保存整備事業 ～大切に保存しよう ふるさとの歴史遺産～

## 基本目標Ⅲ 「次代を牽引する魅力あふれるまちづくり」



事業名	旧伊藤伝右衛門邸保存整備事業
総事業費	334,000円（令和6年度）

### 《事業概要》

旧伊藤伝右衛門邸は市所有の国指定重要文化財（令和2年指定）・国指定名勝（平成23年指定）です。平成19年4月より一般公開を開始し、令和6年3月末現在で150万人余りの方が来館されました。

本事業は、貴重な文化財を後世に伝えていくため、適切に邸宅及び庭園を保存整備します。

### 《取組プロジェクト》

建物は最も古い箇所でも100年以上が経過しており、老朽化が進んでいる状況で、屋根、床等全体的に環境整備、保存整備を実施します。庭園の維持管理については講師を招聘し、毎年管理委託業者へ講習を開催しています。



### 《特徴その1 旧伊藤伝右衛門邸の魅力》

筑豊を代表する炭鉱経営者の伊藤伝右衛門は明治後期から昭和初期にかけて大規模な庭園を伴う本邸をつくりました。近代和風建築の技術の粋が結集された建築物です。矢羽根天井や欄間、襖の引手などに多様な趣深い意匠が施されています。また、応接室はアールヌーボーのマンテルピースやステンドグラスなど洋風を積極的に取り入れています。

### 《特徴その2 国指定名勝である庭園の魅力》

庭園は玄関前の広場、建物に囲まれた中庭、敷地の北半を占める主庭で構成されています。特に主庭は池を配した広大な回遊式庭園となっており、池に架かる太鼓橋や噴水、石灯籠、四阿などが配られています。2階の柳原白蓮の居室からは優美な主庭全体を一望することができます。

# 多くの芸能人が愛した筑豊の芝居小屋 『嘉穂劇場』の再興を応援してください！

## 基本目標Ⅲ 次代を牽引する魅力あふれるまちづくり



事業名	嘉穂劇場保存整備事業
総事業費	22,818,000円（令和6年度）

### 《事業概要》

嘉穂劇場は、1931（昭和6）年2月に炭坑で汗を流す人々の娯楽場として開場されました。江戸時代の歌舞伎様式を伝える木造2階建ての純和風入母屋造の芝居小屋で、開場以来約90年間、途切れることなく民間事業者により運営が続けられてきました。2006（平成18）年には国登録有形文化財となった飯塚市を代表する歴史的建造物です。しかしながら、2019（令和元）年末に発生した新型コロナウイルス感染症によって運営は大きな打撃を受け、さらに施設の老朽化対応も困難となり、2021（令和3）年に嘉穂劇場は飯塚市に贈与されました。

老朽化対策、耐震対策が必要な状況であり、安全のために現在休館中です。

再開に向けて、施設の改修や運営方法、文化財としての保存と活用方法を検討しています。

なお、再開までにはもうしばらくの時間が必要です。

### 《取組プロジェクト》

施設の再開に向けて以下のことを検討しています。

- ①施設の耐震補強
- ②老朽化対策
- ③文化財としての保存と活用
- ④再開後の運営方法



### 《特徴その1 当時のままの芝居小屋》

柵席、棧敷席などの造りは建設当時のまま。  
廻舞台をはじめとする舞台装置も手動です。

### 《特徴その2 芝居小屋の規模としては最大》

建築面積 1144.43㎡、延床面積 1513.71㎡  
舞台間口 16.66m、奥行き 17.47m、廻舞台 直径15.70m  
舞台も大きく、収容人数が1200人と全国の芝居小屋の中でも規模の大きい施設です。

### 《特徴その3 多くの支援によって支えられてきた芝居小屋》

数多くの名優の来援を得て、歌舞伎から歌謡ショー、プロレスに至るまで各種興行が行われてきました。2003（平成15）年7月に豪雨によって壊滅的な被害を受けたものの、芸能関係者や一般市民からの支援によって一年足らずで復旧を果たしました。

# 誰もがデジタル化の恩恵を受けられる飯塚市へ！！ デジタルデバインド対策事業へ応援をお願いします！！

## 基本目標Ⅲ 「時代を牽引する魅力あふれるまちづくり」の実現



事業名	デジタルデバインド対策事業
総事業費	8,785,000円（令和6年度）

### 《事業概要》

誰もがデジタル化の恩恵を受けられる飯塚市を目指すため、デジタル活用に不安のある高齢者等に対し、スマートフォンの操作方法に関する助言や相談等を主な内容とするスマートフォン教室を、身近な交流センター等で開催します。

誰もが参加しやすい環境でスマートフォンの操作方法を習得する機会を提供し、受講に伴い初めてスマートフォンを取得される高齢者に対しては、取得奨励補助金を交付して誰一人取り残さないデジタル社会の実現を目指します。

### 《取組プロジェクト》

- ・対面式でのスマートフォンの操作方法等の教室を開催
- ・交流センター等市民の身近な場所で開催し集客を図る
- ・市の公式SNS等の操作方法を覚え防災情報など収集力アップ
- ・初めてスマートフォンを取得する高齢者に対する補助金の交付



### 《特徴その1 受講料無料》

誰もがデジタルの恩恵を受けられることを目的としており、多くの市民がデジタルの恩恵を受けられるよう、教室受講に関して受講料は徴収せず、誰もが参加しやすい環境で提供。

### 《特徴その2 スマートフォンがなくても受講可能》

デジタル不得手の方は、スマートフォンを持っておらず、ガラケー(3G)を使用している方もいる。そのような方でも気兼ねなく受講できるよう、貸出端末を準備し実際にスマートフォン操作を体験することが可能。

### 《特徴その3 スマートフォンの購入支援》

本教室を受講しスマートフォンを手にした高齢者については、受講証明書にて、スマートフォン取得奨励補助金を交付。なお、市内のキャリアショップとも連携しており、ショップ開催のスマホ講座を受講した高齢者に対しても同様の受講証明書を交付。

# 世代を問わず楽しめるグラウンドゴルフ場を！

## 基本目標Ⅲ 「次代を牽引する魅力あふれるまちづくり」



事業名	グラウンドゴルフ場整備事業
総事業費	23,087,000円（令和6年度）

### 《事業概要》

本市の「いづか健幸都市基本計画」に基づき、子どもから高齢者まで手軽に楽しむことができ、健康づくりにも有効といわれているグラウンドゴルフ専用の施設を建設するものです。



### 《取組プロジェクト》

【令和6年度】

グラウンドゴルフ場整備工事  
グラウンドゴルフ場落成記念行事

### 《特徴》

グラウンドゴルフは子どもから高齢者まで手軽に楽しむことができるスポーツであり、特に高齢者には人気の高いスポーツとなっております。本市においても、グラウンドゴルフ人気は高まっており、定期的な大会も開催されています。しかし、他スポーツとのグラウンドの共用、小・中学校のグラウンド利用のため、他地区との交流など大規模なグラウンドゴルフ大会の開催は困難な状況です。以上のことから、多くの市民が集い、交流が可能となるグラウンドゴルフ場を整備するものです。

# 福岡に移住するなら飯塚移住計画！ 飯塚市筑豊地域外からの移住者住宅取得奨励金制度

## 基本目標Ⅲ 「次代を牽引する魅力あふれるまちづくり」



事業名	飯塚市筑豊地域外からの移住者住宅取得奨励金制度
総事業費	128,000,000円（令和6年度） (74,900,000円)

### 《事業概要》

本市では、筑豊地域外から本市への移住・定住を図るため、本市に居住用の住宅（新築・中古を問わない）を取得した筑豊地域外（飯塚市、直方市、田川市、宮若市、嘉麻市、小竹町、鞍手町、桂川町、香春町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村、福智町以外）からの移住者の方に対して奨励金を交付しています。

### 《交付対象者及び補助対象となる住宅の要件（主なもの）》

- 令和2年4月1日以後住宅取得の契約をし、その住宅に居住する方
- 転入後3年以内に住宅を取得する契約をした方
- 転入前3年以上筑豊地域外に居住していた方
- 取得後もしくは転居後1年を経過していない住宅

※その他要件あり

### 《特徴その1 基本額》

基本額 **100万円** + 子ども加算 **10万円** × 人数

- 子ども加算は、世帯員に満15歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にある者（申請者の2親等内の親族に限る。）が含まれている場合に加算されます。
  - 奨励金の合計額は、購入費（消費税を除く）が上限です。
- ※改修補助金の交付を受けている場合は、合計額に改修補助金も含まれます。

### 《特徴その2 定住促進住宅改修補助金制度との併用可能》

#### ★飯塚市定住促進住宅改修補助金制度とは

本市では、快適な住環境の整備及び中古住宅を活用した定住化の促進を図るため、飯塚市内の施工業者によって市内の住宅（所有者自ら居住する住宅及び居住する予定の住宅）の改修を行う場合に、経費の一部を補助金として交付しています。

基本額 **8万円** + 子ども加算 **2万円** × 人数

- 対象工事金額（消費税を除く）×1/10（千円未満端数切捨て）
- ※ただし、当該金額が8万円を超えるときは上限8万円
- 子ども加算の条件は、移住者住宅取得奨励金制度と同様



# 移住するなら、飯塚市へ！

## 基本目標Ⅲ 「次代を牽引する魅力あふれるまちづくり」



事業名	移住支援事業
総事業費	16,602,000円(令和6年度) (4,152,000円)

### 《事業概要》

飯塚市への移住・定住の促進と中小企業等における人手不足解消のため、三大都市圏（または条件に応じて三大都市圏以外の福岡県外）から移住した方に対して支援金を交付します。

※三大都市圏とは、東京圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）、名古屋圏（愛知県、岐阜県、三重県）、大阪圏（京都府、大阪府、兵庫県、奈良県）を指します。

### 《移住支援金の額》

- 単身者：60万円
  - 2人以上の世帯：100万円
  - 18歳未満の子ども1人あたり100万円加算
- ※対象となる方には条件があります。



### 《その他① 筑豊地域外からの移住者住宅取得奨励金制度》

市内で住宅を取得する移住者に対し、経費の一部を奨励金として交付します。

基本額100万円＋子ども1人あたり加算10万円(年齢等要件あり)

### 《その他② 戸建て中古住宅取得補助金制度》

中古住宅の購入者に対し、経費の一部を補助金として交付します。購入費の一割(最大30万円)＋子ども1人あたり加算10万円(年齢等要件あり)

### 《その他③ 定住促進住宅改修補助金制度》

市民が市内施工業者によって住宅の改修工事を行う場合に、経費の一部を補助金として交付します。

基本額8万円＋子ども1人あたり加算2万円(年齢等要件あり)

### 《その他④ 浄化槽設置整備事業補助金制度》

個人が居住する住宅に浄化槽を設置する場合、設置費用の一部を助成します。

※①～④について、対象となる方には条件があります。

# 「住みたいまち 住み続けたいまち」をプロモーション

## 基本目標Ⅲ「次代を牽引する魅力あふれるまちづくり」



事業名	シティプロモーション推進事業
総事業費	10,773,000円（令和6年度）

### 《事業概要》

- ★市外・県外のできるだけ多くの人に、「飯塚市」を知ってほしい。  
そして、住む場所として選んでもらえるまちになりたい。
- ★市民に、「飯塚市」の魅力や居住地としての良さを再発見してほしい。  
そして、このまちに住み続けてほしい。  
…そんな思いを込めて、様々な手法で「住みたいまち 住み続けたいまち 飯塚」を発信（プロモーション）します。

### 《取組の内容》

- 首都圏におけるイベント出展
- 福岡都市圏の住宅展示場における移住支援情報の提供
- 各種マスメディアやSNSを活用した情報発信
- 市内外のイベントにおけるPR活動 ……など



イベント会場のようす (R5年度)

### 《特徴その1 市外に向けた情報発信（プロモーション）》

首都圏におけるイベント出展、SNSを活用した広告配信などを通じて、飯塚市について、また、飯塚市への移住・定住を支援する様々な施策について市外・県外の多くの人に知ってもらうことにより、移住者の増加を図ります。

### 《特徴その2 市民に向けた情報発信（プロモーション）》

テレビ・ラジオ・広報誌などのマスメディアや、市内で開催されるイベントの機会を活用して、飯塚市の魅力を再発見・再認識してもらえるような情報を発信することにより、市民の地域への愛着や誇り（シビック・プライド）を醸成し、定住人口を増やします。

### 《特徴その3 人口の社会増による地域の活力の維持・向上》

上記のようなプロモーションに取り組むことにより、人口の社会増（転出者<転入者）の状態を保ち、まちの活力の維持・向上につながります。

# 花いっぱい人が集まる美しいまちづくり！ 花で華のあるまち飯塚へ！

## 基本目標Ⅲ 「次代を牽引する魅力あふれるまちづくり」

遠賀川・中之島コスモス



事業名	花いっぱい推進事業
総事業費	6,038,000円（令和6年度）

### 《事業概要》

自治会、老人クラブ、婦人会、小中学校、自衛隊、各種団体、各事業所、市民ボランティアグループ等で構成された「飯塚市花いっぱい推進協議会」が中心となり、市内各所に花壇、フラワーポットを設け環境美化を図り、花いっぱい運動の市民啓発に努めています。

各イベントで花が醸し出す香りと彩りで、市内外を問わずお越しの方々に、おもてなしの気持ちを伝えるとともに華やかな雰囲気づくりを行っております。

「国際車いすテニス大会」や「まちなかイルミネーション大作戦」、「筑前いづか雛のまつり」のイベント会場や市役所・歴史資料館・コスモスコンといった公共施設を花で飾り、遠賀川中之島のコスモスを咲かせるといった活動もしております。

### 《取組プロジェクト》

- 花壇コンクール（春・秋）
- 花苗・種子配付
- 遠賀川中之島コスモス種蒔
- 育苗講習会
- 公共施設等美化活動

コスモスコン飾付



コンクール受賞花壇



新飯塚駅前花壇植え替え  
（高校生ボランティア）



市役所前花壇整備  
（中学生ボランティア）



### 《特徴その1 地域の景観向上》

環境美化活動・飾花活動ボランティア・公共施設の美化活動を通して、美しいまちづくりに貢献しています。

### 《特徴その2 地域コミュニティの形成》

花の種まきや日々の花壇管理活動などを通じ、地域やグループの方々のコミュニティが形成されています。

### 《特徴その3 環境意識の醸成》

小中学校での花壇コンクール参加や、駅前等の花壇整備に子どもたちが参加し、花に触れることで自然環境について考えるきっかけになっています。

# 飯塚市の観光イベントを次世代の子どもたちに残していくために応援してください。

## 基本目標3 「次代を牽引する魅力あふれるまちづくり」



事業名	飯塚観光協会補助事業	
総事業費	29,215,000 円	(令和6年度) (20,180,000円)

### 《事業概要》

飯塚観光協会は、飯塚市内で開催される観光イベントに対して補助金を支出し、イベントが継続できるよう取り組んでいます。

飯塚市の大きな観光イベントは、「飯塚山笠」、「飯塚納涼花火大会」、「筑前の國いづか街道まつり」、「いづか雛のまつり」など、いずれも地域住民や商工業者に支えられて開催されており、次世代の子どもたちに残していきたいイベントです。他にも、観光パンフレットの製作やSNSによる情報発信など、飯塚市の魅力が市内外の方に伝わるよう取り組んでいます。

### 《取組プロジェクト》

## 飯塚市内の観光イベントの開催継続

### 《イベントその1 飯塚山笠》

飯塚山笠は、享保年間に始まったと言われており、復活40年以上の歴史があります。山笠ファイナーレの「追い山」の日には、約3千人の男衆が水法被に身を包みます。沿道からの勢い水を全身に浴びながら街中を疾走する姿は、感動と清涼を与えます。



### 《イベントその2 飯塚納涼花火大会》

大正11年に第1回が行われ、長い歴史を持つ飯塚納涼花火大会は、毎年10万人が訪れる飯塚市の夏の風物詩です。ナイアガラの滝をはじめ、大規模な仕掛花火が夜空に打ち上げられ、会場周辺には露店がたくさん並んで賑わいをみせる筑豊の一大イベントです。

### 《イベントその3 筑前の國いづか街道まつり》

祭りの会場である飯塚市中心商店街が、かつて長崎街道の宿場町「飯塚宿」として栄えた事に関連してさまざまな衣裳に扮した市民らの時代仮装行列をはじめ、ステージライブ、ストリートダンス、飲食・物販などたくさんの催し物が行われます。



### 《イベントその4 いづか雛のまつり》

旧伊藤伝右衛門邸をメイン会場として、市内商店街など12会場で雛人形を飾ります。会場では趣向を凝らした雛人形がお客様をお迎えします。また、この時期に合わせて様々なイベントが行われます。